

会 議 要 旨 (全文録)

会 議 の 名 称	印西地区環境整備事業組合 印西地区ごみ処理基本計画検討委員会 第6回会議
開 催 日 時	平成30年11月11日(日)午後2時00分開会
開 催 場 所	印西地区環境整備事業組合 3階 大会議室
議長(委員長) 氏 名	大迫 政浩 (国立研究開発法人 国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター長)
出席者(委員) 氏名(人数) 敬略称、順不同	鬼沢 良子 (NPO法人 持続可能な社会をつくる元気ネット事務局長) 津島 孝彦 小熊 清 大家 茂樹 田沼 育男 鹿目 修 (印西市廃棄物減量等推進審議会委員) 藤田 均 (白井市廃棄物減量等推進審議会委員) 福本 朋子 (栄町廃棄物減量等推進員) 花安 利章 (印西市立本埜中学校 校長) 榛沢 宏一 (白井市立白井第1小学校 校長) 鳥羽 英之 (栄町立布鎌小学校 校長) 船越 勝行 (日本食研ホールディングス(株)千葉総務部 次長) 平林 繁 (株平林 代表取締役会長) 計13名
欠席者(委員) 氏名(人数)	五十君 みつる 川井 大海 (イオンリテール(株)千葉ニュータウン店人事総務課 課長) 計2名
事務局の出席者	印西地区環境整備事業組合 (印西クリーンセンター) 高橋 清 (事務局長)、小川 和弘 (工場長)、土佐 光雄 (副参事) 長沼 徳雄 (主幹)、大野 喜弘 (副主幹) 組合関係市町 伊藤 章 (印西市 課長)、金森 隆 (白井市 主査)、 大村 俊之 (栄町 課長補佐) コンサルタント 株式会社日本環境工学設計事務所 (2名)

発言者	内容
次第1 開会	
事務局	資料の確認
次第2 委員長挨拶	
次第3 議事	
委員長	<p>議事のほうに入りたいと思います。その前に、議事録署名人を指名したいと思 います。榛沢委員と鳥羽委員を指名します。よろしくお願いいたします。</p> <p>それでは議事を進行させていただきます。議題（1）印西地区ごみ処理基本計 画（案）になります。①から⑥までありますが、一挙に説明しますと時間も要し、 なかなか頭の中の整理も難しいと思いますので、①から④までの実績と課題を 前半で、後半で⑤、⑥の基本計画についての説明を事務局からして頂きたいと思 います。それでは、議題（1）印西地区ごみ処理基本計画（案）の①から④まで の実績と課題についての説明をお願いします。</p>
事務局	<p>印西地区ごみ処理基本計画（案）の前回会議からの変更点について説明 ①計画の策定、②印西地区の概要、③ごみ処理の現状、④ごみ処理の課題 説明</p>
委員長	<p>最初に変更点を全体に係ることとしてご説明いただきました。次に、概要版を 利用して①～④までをご説明いただきました。特に第4章の内容についてご意 見、ご質問等ありますか。</p>
鹿目委員	<p>2ページの「計画の位置づけ」の中の構成市町の中に「構成市町 環境基本計 画等」と書かれており間違いはないと思いますが、もう少し具体的に書けないです か。各構成市町では、基本計画を受けて目標を達成しようと独自に計画を立て、 アクションプラン等に取り組んでいるという現実があり、1年毎のアクション プランや実施計画を評価、検証しているので、この中にその計画を入れる必要があ るのではないかと思います。</p> <p>一つの考えとして印西市、白井市、栄町が独自に作られている計画を総称して 「ごみの減量等に関する具体的な計画」といった文言を、「構成市町 環境基本 計画等」の下に入れたほうが、位置づけがスムーズにいくような気がしますが、 いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>検討委員会で決めていただければと思いますが、「等」という中にそれらの計 画を含んだ形と考えています。各市町で同じ計画名ではなく、ここに並びきれな いので、基本計画等という形で一つにまとめたほうが良いということで、事務局 としては表記させていただいたところです。</p>
委員長	市町の方で意見はございますか。
事務局	各市町も当然、組合の計画を見据えた形で、それぞれ独自に計画を作っており ますので、検討委員会の中で決めていただければと考えております。

委員長	<p>印西地区基本計画を踏まえた具体的な実施に当たっての市町の計画等も含まれるということで、書き方を工夫していただければと思います。</p> <p>これは環境基本計画の中に、ごみ処理に関する計画を入れ込んでいる市町もあるということですね。基本計画以外にも、市町それぞれごみに関しての計画があるのではないのですか。</p>
事務局	<p>本編の 69 ページに、構成市町の計画を表記しており、これらを総称的に環境基本計画等ということでは言い表しています。</p>
委員長	<p>環境基本計画はもちろんあると思いますが、それ以外に、図の中の「環境基本計画等」の下あたりに、「構成市町のごみ減量化等に関する計画」等といった事項を付け加えてはどうか。</p>
事務局	<p>わかりました。2 ページの「環境基本計画等」の下に、「ごみの減量化等に関する計画等」を併記させていただきます。</p>
福本委員	<p>概要版の説明をしていただきましたが、概要版と基本計画（案）本編を比べたときに、概要版のほうが、キャラクターや図が多く、よりわかりやすい形を目指しているのはわかります。しかし、概要版を手にする方は、一般の方が多いと思いますが、最初の「計画の目的」のところ、今までになかった「SDG s」のことが書かれています。これに関しては、何となく聞いたことあるという方はいると思いますが、認知度は、これからという部分が多いと思います。計画本編では、「SDG s」の説明がありますが、概要版にはないので、スペースの関係もあると思うのですが、キャラクターを入れるのであれば、「SDG s」の 17 個の目標の図等の説明を入れて頂いたほうが一般の方が見た時にわかりやすいと思います。</p>
委員長	<p>概要版は、今日の会議のためだけでなく、パブリックコメントでも実際に出されるのですか。</p>
事務局	<p>パブリックコメントには、本編の計画書（案）と概要版の両方を出します。</p>
委員長	<p>大体の方は概要版しか見ないかもしれないですね。</p>
事務局	<p>両方見ていただきたいですが、概要版しか見ない方もいるかもしれません。</p>
委員長	<p>そのようなことを考えて概要版をつくるのですから、概要版に入れるエッセンスで知っていただくということなので、あまりたくさん入れても分厚くなり、本編とあまり変わらなくなるので、今の意見等も踏まえて少し工夫して入れたらいいかなと思います。</p> <p>キャラクターは本編には入れないのですね。そういう意味で概要版の生かし方が、より効果的になるように見ていただくということで、いいのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>本編の 56 ページの「SDG s」と「第 4 次循環計画」の説明を、概要版の基本理念の次に入れたいと思います。</p> <p>本編の表紙は、殺風景ですので写真か何かコンサルと工夫したいと思っておりますので、お任せいただきたいと思います。</p>

小熊委員	概要版の5ページの「総ごみ排出量の実績」のグラフには前計画の原単位が破線で、実績が実線で書かれていますが、この乖離の説明を文章の中に書き足すことは可能ですか。何故これだけ離れているのかということ。10ページの課題の中では出てきていますが。
委員長	そうですね。ただ目標値を書き込んでいただいているのであれば、例えば排出量・原単位は下がっているが目標値には至っていない、ということで課題認識として書いてはどうかと思います。
小熊委員	ただ、目標値に至っていないと記載しなければ見ている方は、「減っているのだな。」というだけで、安心されるのではないのでしょうか。一生懸命頑張っているが、まだ目標には届かないのだよ、というのが訴えられるといいと思います。
事務局	それでは、何々が増えているまでは書き込めないの、計画より多いというような表現で説明を付け加えたいと思います。
津島委員	確認ですが、43ページの組成分析データの分析結果を用いて、次回の施設整備基本計画で、これに基づいた元素組成の比率を出すのでしょうか。
委員長	前回、乾ベースしかなく、湿ベースの29年度データがありましたので、ここでいろいろと減量化や水切りの数値と繋げるための基本データとして使うことで出させていただきました。必ずしも中間処理施設の設計とはリンクしている数字ではないと私は理解していますが。
事務局	事務局でも、このデータで次期中間処理設備へというのは、意識はしておりません。ただ、必要な項目であれば、5年後にまた計画をつくりますので、そこで進捗を把握したいと考えています。
津島委員	必要かということではなく、次回の施設整備基本計画で、今回の組成分析結果に基づいてやっていただけるのかどうかという確認だけです。炭素と水素の量、パーセントをもとに煙の量等を算出しますので、28年度の施設整備基本計画では、ちゃんと元素組成分析は出ているのですよね。ただ、今回のごみの組成結果が28年度の数値と変わってきていますので、その変わった数値を用いて次期の施設整備基本計画で元素組成を見直していただけるのかどうかという確認だけです。
事務局	最終的には、この計画に則り、設計という段階に次期のほうは具体的に入っていくと思うのですが、その段階で、こちらのデータも加味して設計に入るといったようには考えております。
藤田委員	処理施設に関してですが、埋立量が増えていっている中で、新しい施設でも、また埋め立てありきの計画であるのか。例えば5年後に、埋立をしない新しい計画案が出れば、施設の変更が可能になるのか知りたいです。
事務局	最終処分場への埋め立てということだと思いますが、これまでは震災以降、一部焼却灰、飛灰を外部へ委託しておりました。ここで、いろいろ議論がありましたが、先ほど説明しました通り29年度には埋立率が20%という状況ですので、今後数十年は活用できるだろうということで、全ての焼却灰を埋め立てるといった方針で今後も計画をつくっていきます。

藤田委員	<p>今後、技術が発達し、灰が灰で無くなり、もう埋立しなくてよい状況になる可能性もあるわけですね。そうなれば、埋め立てしようとしていた土地が、また別の形で有効利用できるのではないのかな、という思いはあります。</p>
事務局	<p>100%灰がなくなるということは多分ないと思います。当然施設や設備が進化し、なるべく焼却灰が出ないものができるかもしれませんが、ゼロというのは、考えにくいと思います。</p>
事務局	<p>最終処分場につきましては、今後数十年は大丈夫だろうと考えています。また、自前の施設を有効活用しないといけないので、こちらの最終処分場のほうを活用はしていきましようということで、埋立てを基本として考えてくという方針でございます。</p> <p>今、ご指摘がありましたように、ごみの減量が進んで、さらには焼却技術の発達等々で焼却灰等かなり減少したり、他に活用するということができるようになるのであれば、その時代の情勢に沿って、最終処分場の活用というのが見いだせるのかなと考えております。ただ、現計画の中では最終処分場の活用し、埋立てをしていくということでご理解いただきたいと思います。</p>
委員長	<p>最終処分場が、まだ数十年余裕があり、今までもエコセメント等に活用してきましたが、放射能の問題でストップしてしまい、いろいろ苦労されてきたと思います。今は、1トン当たり多額の費用をかけて委託業者に出していますが、現在処分場があるのであれば、処分場は使用していなくても維持管理は必要ですし、運搬費用も必要になりますが、委託費用と比べればそれほど費用がかかるわけではないということですね。</p> <p>今後、総合判断の中でいろんな新しい技術などが出てきたら、使わなくてはならないということはあると思いますが、処分場の近隣の方々は、出来るだけ早くこの処分場を終えてほしいと思っている人たちもいるということで、複雑な要素があると理解していたのですが、そういう中で今の意見も大事なポイントなので、そのような背景も含めての説明がなかったのが、気になっていたのですが。よろしいですか。</p>
鹿目委員	<p>54ページの「ごみの排出量」の課題の中で、事業系ごみが減らないということで、それに対する対策が必要かなと思いました。今回実施したアンケート調査を見てみると、事業所のほとんどがごみの減量等に関心があるということなのですが、なぜ減らないのかなと見てみると、課題として取組に時間がかかる、費用がかかる、担当部署がないという意見が多かったのですね。特に担当部署がないというのが気になりまして、やりたいのだからわからない、ノウハウがないからやらない、やれないという受方もできるわけですね。</p> <p>だから、「ノウハウを教えていただければできる。」と捉えることができると思います。それで行政のほうの手伝うという形で、全国的な市町村の優良事業者で減量化が進んでいるところでは、どのようなやり方で実施しているというものを調査して、その情報を事業系に説明するといった仕組みが必要なのかなと思うのです。</p>

	<p>つまり、事業者さんのほうに、それを受け入れる体制づくりというか、減量化、リサイクルの体制づくりがないことによって、減量化できていないのかなと感じます。実際、大規模事業者は、体制ができています。</p> <p>しかしアンケート調査表を見てわかるように中小企業では、体制づくり、仕組みづくりができていないのかなと考えられるわけです。基本的に行政は今まで事業系ごみについてはあまり関与していないというスタンスだったと思うのですが、もう少し踏み込んで、促進させるということ必要なのかなと思います。</p> <p>では、この54ページに追記したほうがいいのかと思うのは未実施の項目が多くなっていることから未達成の原因、課題などを整理することにより、事業系にもう少し力点を強めないといけないですよというようなニュアンスになればいいのかと思います。</p> <p>もう一つ、それに関連して、89ページの「事業者のできること」の中に、「効率的な減量化、資源化の体制づくり、仕組みづくり」を入れ、それを行政がサポート、支援する、情報発進なりをするというストーリーでやればいいのかと思います。</p>
委員長	<p>ありがとうございます。具体的に修正いただいていたので、事業者の体制が十分ではないところの書き方を、どう入れ込むかというのがありますが、それを踏まえて体制づくりを支援していけばいいのではないかというご提案でした。</p>
鹿目委員	<p>そうですね。住民は色々な仕組みづくり、体制づくりをしていますので、それを事業所のほうでもやっていただきたい。ただ、事業所が行うと費用がかかるのでそれを効率的にやるために、行政が他事例を情報として提供することによってできるかなという考えです。</p>
事務局	<p>今ご指摘いただいた、事業所での体制づくりが不十分ということを一言入れて、89ページに、今後の仕組みづくりということで、書き込んでいきたいと思っています。</p>
委員長	<p>他にご意見、ご質問等ありますか。無いようでしたら、次に⑤～⑥の説明を事務局にお願いいたします。</p>
事務局	<p>(1) 印西地区ごみ処理基本計画(案) ⑤ごみ処理基本計画、⑥計画の推進 説明</p>
鬼沢委員	<p>85ページの取り組みを3つに分けて書いており、「(1) ごみ排出量の削減」の最後に「事業系ごみの排出を減らそう」とありますが、その件は「(2) ごみの分別、リユース・リサイクルの推進」のところでも、事業系の分別を徹底するというようなことが必要ではないかなと思います。</p> <p>それから、「ごみに関する知識を吸収し実践しよう」というのは、住民一人一人のことなのですが、やはり行政として住民がごみに対する知識を吸収する前に、「こういうことをすれば一人一人が、もっと知識や理解を持てるようになる。」というような取組があってもいいのではないかと思います。</p> <p>また、資源化の仕組みづくりというのは、これは事業系のことも含めているのであれば、先ほど仕組みづくりが必要というように、事業系ごみの仕組みづくり</p>

	<p>ができていないということであれば、事業系廃棄物の仕組みづくりが必要と書いたほうがいいのかなどは思います。</p> <p>また、87 ページの住民にできることで3つ目の「生ごみ処理機の使用」とありますが、処理機と書いてしまうと、何か電気を使った処理機というイメージにとられますよね。だから、生ごみ処理機と入れるのであれば、「生ごみ処理機やコンポスト」というように入れないと、いかにも機械を推薦しているかのようにとられるのではないかなという気もします。</p> <p>また、88 ページの住民ができることの「マイバックの使用」は当然ですが、マイバックの使用というと、どうもスーパーにお買い物に行くときには使用するという風にとられてしまい、例えば本屋さんや小さなお菓子屋さん等色々なところでもレジ袋は必ずついてきますので、「マイバックの使用、レジ袋の辞退」ということを、はっきり書いたほうがいいのかと思います。今は必ず無料で、黙っていると必ずレジ袋に入れられるということがあるので、辞退することがすごく大切なのではないかなと思います。</p> <p>次の行の「無駄な包装紙」の「紙」は要らないと思います。包装は紙に限らないので、「無駄な包装」でいいと思います。</p> <p>89 ページの事業所のできることで、これは後半の「ごみについて考える」の部分で出てくるから書いてないのかなとは思いますが、事業所のできることで、「コピー用紙はできる限り両面コピーや裏紙を利用」というのがあるので、その後に、それをごみにしたら意味がないので、「～利用し資源化する」ということが大切だと思います。</p> <p>また、ずっと気になって皆さんに伺いたいと思うのですが、85 ページの「ごみに関する知識を吸収し～」の中の「吸収」という言葉が本当にこれでいいかなと思います。ここに来て市民が主体的な言葉になっています。それと、それに関係するところで、92 ページの「(3)のごみに関する知識を吸収し、実践しよう」の「発信しましょう」の部分が、ものすごく市民が主体的なことが書かれているのですが、ほかはそのような書き方ではないのですが、これがいいのかどうか、どう思われるか皆さんにお聞きしたいのですが。</p>
小熊委員	<p>88 ページの「住民のできること」のところ、先ほどの包装紙の削減のところなのですが、これは削減じゃなくて辞退でいいのではないですか。また、「事業者のできること」で、「レジ袋の回収」とあるが、これは事業者がレジ袋を回収するというのでしょうか。</p>
鬼沢委員	<p>これは、スーパーで回収するという意味ではないかと思います。</p>
小熊委員	<p>89 ページの「事業系ごみの排出を減らそう」のところの2行目と4行目ですが、「資源ごみ」とありますが「資源物」に直されたほうがいいのかと思います。「事業者のできること」では「徹底した資源物の分別」で表現していますので。</p>
福本委員	<p>55 ページの基本理念の中の「SDG s」についてですが、「持続可能な開発目標 (SDG s)」ということが書かれており、アンケートの中でもわからないと答えた方が多かったので勉強しましょう、というのも施策の中に出てくるのですが、</p>

	<p>特に 17 個の目標の中の 12 番「つくる責任、つかう責任」というのが、今回の基本計画の中で特に関連してくると思うのですが、ごみ減量や資源化の取組のところに「つくる責任（事業者）、つかう責任（住民）」という文言を入れた方が、目標に向かって私たちがどのような取組をして行けばいいか、より具体的に分かると思います。</p>
津島委員	<p>93 ページの「ごみ処理有料化の検討」のところに、全国での有料化の実施状況を追加で記載いただいてはどうか。実施状況を書くことによって、市民がこれを見て、現状はこうなっているのだ、ということを知るのに非常に役に立つと思います。</p>
田沼委員	<p>89 ページの「事業者のできること」の中の「コピー用紙の両面コピー」というのは、ごみの減量化という項目ではないと思います。裏表使うというのは少資源化ということではあるけれども、やっぱり減量となると、それを徹底した分別をして資源化するというのがポイントだと思います。</p>
委員長	<p>両面コピー、裏紙は減量化のやり方の一つだという理解はしていると思います。新しいやつをどんどん使って、またそのまま裏紙の分を使わずに捨てると、使用量・印刷量の紙が増えてしまう。もちろん、それは資源化に持っていけばいいのですが。</p>
田沼委員	<p>そうですね。あくまで資源化だと思うのですが。</p>
委員長	<p>おおむね今の点を踏まえて、いろいろと反映させたほうがいい意見だったと思っており、取組のところは、書き方が最初に行政がやるべきことを、行政として取組ます、あと住民も事業者も、こういうことができるから、やってくださいという書き方で、そのタイトルが今回の基本方針や基本理念である、みんなでやろうというような形で書いてあるところが、読み方によってばらついていたりしている部分もあるかもしれませんので、その辺は統一感のあるような書き方で見直せば、皆さんのご指摘のところで違和感なく捉えられるところがあると思ったので、書き方も、読み手がそういう書き方をしたんだということが伝わらないと混乱することがあると思います。</p> <p>あとは、それぞれもっともな意見が多かったですし、追加の情報等を入れるというのは、適切な統計情報等があれば追加していけばいいと思いますので、検討するということですが、事務局のほうから、今の意見等を踏まえて総括的な対応方針でもいいですが、どうですか。</p>
事務局	<p>訂正をいただいたところについては当然、不備を含めてあろうかと思いますが、修正させていただきます。</p> <p>書き方としましては、取組のところの主になりますので、そこを委員長が言われたとおりに、そういう書き方をしたと思うのですが、もう一度チェックをして、初めに行政なり、こういうことをやっていきたいと思いますということで書いて、下に住民の方や事業者の方が取組ことを書いていきますので、再度、追加等見直していきたいと思いますが、大きく変わることはないと思いますが、こういう形でまとめはさせていただければと思います。</p>

委員長	内容は大きくは変える必要はないと思いますが、読み手がすっきり、今の趣旨が伝わるようにというところで最低限の工夫ができればいいかなとは思いますが。
大家委員	75 ページの「事業系ごみの減量化・資源化」の「飲食店、事業者等での「食べ残し0 運動」等」で具体的に数値化されて、223 トンの減量を見込めますと記載がありますが、それに対して、89 ページの「事業系ごみの排出を減らそう」の中に食品ロスに関する項目がないのですが、関係性はどのようなのでしょうか。
事務局	86 ページの「食品ロスを減らそう」と関連づけています。
大家委員	また、前回も言ったのですが、宿泊だとか飲食施設だけでなく、病院や介護施設も大量にごみが出ています。事業系ごみが増加している理由もそこにあるのではないのでしょうか。介護施設は、ここ3年ぐらいで100件程度増えています。
小熊委員	<p>予測の関係ですが、60 ページの栄町の予測で、人口が92%に減る予定なのですが、33年度に一気に75%まで減っています。これは、この対策からやっていると、この数字になってしまうのかなと思うのですが、白井市や印西市につきましては人口減より少し多く減る程度だというような数字が出ていますから、後で見ていただければと思います。</p> <p>また、概要版で見ていただくとわかりやすいのですが、18 ページのところでは目標値が折れ線グラフで出ています。ここに予測値と一緒に表示することは可能なのですか。予測値よりも目標値は対策の部分が入りますから、数字が小さくなりますので、今後この対策をやっていく中で、成果をPDCAで回して報告して評価しますという文言が入っていますので、当然進捗等を出していかなければならないのではないかなと思うのですが。</p>
事務局	予測と目標と一緒に表現するということですか。
小熊委員	はい。そうすると進捗管理というのは非常に容易になると思います。
事務局	そうすると、構成からみんな変えていくということになるので、今回の例でやらせていただけると、ありがたいのですが。
委員長	簡単にできるとしたら、18 ページ、19 ページあたりの目標のところ、当該年度だけ目標値の点が打ってあるということということぐらいは可能かと思えます。
事務局	それでは、中間目標と計画目標の個所に予測値の点をいれることとします。
小熊委員	86 ページのところは事業者のできることとありますが、下のほうに、「売れ残った食品などをリサイクル」と書いてあるが、これは何をリサイクルという形で考えているのかなと思いました。
事務局	二次的に、また違う商品とか食べ物に変化させて、すぐに捨てるのではないよ、というような意味で書いています。少し表現は検討します。
委員長	全体的な内容に問題があるということではないと思いますので、今日指摘いただいたことを最大限拾って反映させたものに関して、私と鬼沢副委員長、二人で預かってチェックして見て、これはパブリックコメントに出すレベルだなと

	<p>ということで確認させていただきますので、一任させていただきます、パブリックコメントにかけて、そこで意見をいろいろといただきたいと思いますので、また、意見を踏まえ修正し、1月の検討委員会で確定するようになります。とりあえずパブリックコメント（案）ですが、今日いただいた資料、意見を踏まえて修正したものを、委員長・副委員長で確認したものをパブリックコメントに出すということで、了解いただけますか。</p> <p>それでは、責任持ってやっていきたいと思います。いろいろな良い意見をいただきましたので、ありがとうございました。</p> <p>それでは、パブリックコメントについての、やり方等、事務局のほうから説明お願いいたします。</p>
事務局	(2) パブリックコメントについて 説明
委員長	<p>説明が終わりましたが、何か質問ありますか。今日皆さんに頂いた意見を全てきれいに反映できるかというのはスケジュール的に難しい部分もあるかもしれませんが、それは次の最終案をまとめるために、パブリックコメントと同時並行で対応していただくところも残るかもしれません。パブリックコメントが木曜日からということですので、明日作業をして頂き、火曜日ぐらいに確認をさせていただきますたいと思います。</p>
鹿目委員	<p>パブリックコメントで提出された意見は、委員には年内にメールか何かで提示していただけるのですか。</p>
事務局	<p>まず出てきた意見を委員長、副委員長に見ていただき、ある程度対応案を作り、方向性を出してから委員の皆様様に配布させていただこうと思っております。</p>
花安委員	<p>一般市民はパブリックコメントがやっているというのはどこで見ればわかるのですか。</p>
事務局	<p>3市町と組合のホームページや3市町の広報に載せております。</p>
委員長	<p>わかりました。パブリックコメントで多くの意見をいただければ、よりいいものになると思います。</p> <p>議題は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しいたします。ご協力ありがとうございました。</p>
事務局	<p>委員長につきましては議事進行の方、ありがとうございました。その他、皆様何かございますか。</p> <p>次回の検討委員会、1月20日の予定でございます。よろしくお願ひしたいと思ひます。</p> <p>それでは長時間にわたりご審議ありがとうございました。以上で終了させていただきます。</p>